

改善箇所説明図



リヤブレーキキャリパー
ピストン



リヤブレーキキャリパー

は対象となる部品を示す

不具合の内容

リヤブレーキキャリパーのピストンにおいて、メッキ加工が不適切であるため、ピストンの鉄部分とブレーキフルードの酸化反応が起きることがある。そのため、酸化反応の際に発生した気泡がブレーキラインに滞留し、最悪の場合、ブレーキが効かなくなるおそれがある。

改善措置の内容

全車両、リヤブレーキキャリパー（左右）を良品と交換する。

識別： キャンペーンステッカーに「47N8、日付（西暦・月・日の順）ワークショップスタンプ」を記入し、スペアタイヤ収納部左側面に貼りつける。

